

## 04. 高等学校教諭

熊本市立千原台高等学校

教諭 徳永 郁也

(平成30年度採用)



### 現在の担任、担当、校務分掌等

現在、1年生の担任をしています。高校は義務教育ではないので、生徒たちが自分自身でやるべきことを考え、予測困難な時代を生き抜いていけるような学級経営を目指しています。

担当教科は国語です。私は中学校時代の先生に憧れて国語の教師を目指すようになりました。常に満足のいく授業ができるというわけではありませんが、毎日教材研究を行い、生徒たちの国語力が向上するよう努力しています。憧れの先生に一步でも近づけるよう、学び続ける教師でありたいと思っています。

### 高等学校教諭の魅力

高校卒業後は大学に進学する生徒もいれば、就職をする生徒もいます。人生の分岐点になるため、それぞれの進路選択が後悔のないように指導していくところにやりがいを感じます。そして、進路先に合格したと報告してくれるときの笑顔が何よりの喜びです。



### 私の失敗談(失敗から学んだこと)

研究授業を行った際、参観してくださった先生から「先生が面白そうに授業をしていない」と指摘されたことがあります。当時は授業をするのに精一杯でしたが、その言葉をいただいてからは、魅力ある授業を行うには自分が楽しむことが大事だということを念頭に置いて授業づくりを行うようにしています。

### 私の働き方改革 work life valance

俳句作りやeスポーツなど、仕事をきっかけにして趣味の幅が広がっています。俳句は授業で生徒たちに作らせる中で「先生も作ってください」と言われ、毎年生徒と一緒にコンクールに応募するようになりました。eスポーツはもともと趣味の一つでしたが、部活動の顧問になったことでより一層熱が入るようになりました。インドア派なので、休日には同僚の先生とオンラインで遊んだり対戦したりしています。

### 熊本市立学校教員を志願する方へのメッセージ

熊本市はICT環境が整備されており、研修も充実しているため、誰でも「主体的・対話的で深い学び」を実践することができます。職場では自分以上に情熱あふれる先生方から日々刺激を受けています。教師とは、子どもたちを育てるとともに自分も成長し続けられる、素敵な仕事だと思います。

※この掲載内容は、令和5年1月時点の内容です。